



北海道・東北



ネット

北海道・東北ネットワーク研究会

山形県開催〈さくらんぼラウンド〉



H28.10.8 in 山形中央高校
(Sat)

平成 28年度 北海道・東北ネットワーク研究会が開催されました。時期的に「さくらんぼラウンド」より「芋煮会ラウンド」でしたが・・・佐藤豊先生（情報交換会）、高橋修一先生をはじめ、県外 14 名、山形県内 18 名参加のもと、日中・夜ともに、内容の濃い、とても充実したラウンドとなりました。

1 トピックス

国立教育政策研究所 高橋修一先生より、中央教育審議会の動向についてお話しいただきました。子供達の未来と現在検討されている次期学習指導要領に示される、これから求められる資質や能力等についての説明がありました。「アクティブ・ラーニング」という学習法を取り入れるイメージではなく、「アクティブ・ラーニング」の視点で授業改善を行うイメージが重要であることなど、具体的な説明をしていただきました。さらに、次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめのポイントについても説明をいただきました。



2 グループワーク



続いて、「楽しい体育授業づくり」について、参加の先生方でグループワークを行いました。現在の授業の現状や課題について、いろいろ意見交換を行いました。今回は、学生さんや、若い先生方に多く参加いただきましたので、様々な年代の先生の課題などがテーマとして出されたと思います。ただ、意見交換したいテーマは各グループたくさんあったのですが、残念ながらこの後の予定もあり、途中で終了となってしまったのかと思います。申し訳ありません・・・。

しかしその分、夜の情報交換会での意見交換が充実しましたね♪

3 単元の構造図の作成(ワークショップ)

はじめに、高橋修一先生から作業の説明をしていただいた後、各グループで、中学1、2年生の球技(ネット型)を想定した、単元の構造図作成に入りました。

各グループでは、構造図作成経験のあるファシリテーターが助言者となり、参加者の皆さんは自分の学校の生徒の実態や学校の環境などをイメージしながら、積極的に意見を出し合い、短時間ながら、様々な意図が反映された構造図が完成しました。

その後、ポスターセッションを行い、各グループで作成した構造図について、意見交換を行いました。

意見交換後、各グループで最後のグループワークを行い、頂いた意見を参考に構造図の修正を行いました。



4 まとめ

最後に高橋修一先生から、身に付けるべき知識と学習評価について、各グループで作成いただいた構造図をもとに、まとめていただきました。観点別評価の検討の視点や学習カードの活用等について、佐藤豊先生のスライドをわかりやすく解説いただきました。体育学習の魅力と重要性を、参加の先生方は強く感じ取ったようでした。

★1/7(土)秋田県きりたんぼラウンド・2/11(土)岩手県わんこそばラウンドです！ふるって御参加ください！！